

February
2.1

1998
No. 716

小田原

広

報



発行 小田原市

〒250-8555小田原市荻窪300

編集 広報広聴課

☎0465(33)1261

FAX 0465(32)4640

(毎月1・15日発行)



きらり!海!

優しさにとぎわいとちからづよさを
求めて復活する小田原の定置網!

●主な内容

- ◆この網に復活を賭ける! 2
- ◆1500人の仲間たちは悩んでいるー外国籍住民 4
- ◆歴史街道(北原白秋) 6
- ◆今よみがえる登城ルート 16

小田原の魚はうまい！ 食卓を小田原のおいしい魚で飾りたい。

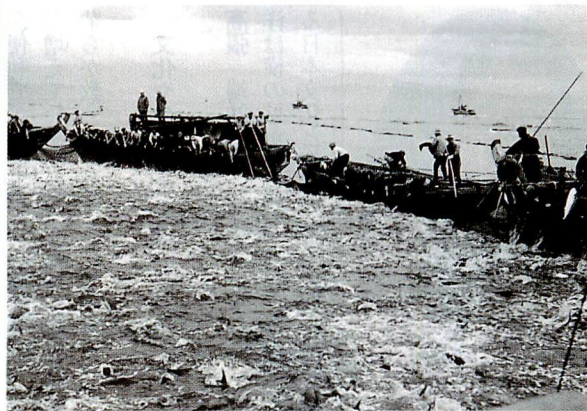
真っ黒に日焼けした米神漁場のみなさん。
ハイテク定置網に取り組む意気込みを伺いました。

定置網漁の昔と今

めっきり魚が取れなくなつたね。ここからは日本一のブリの漁場だったんだ。網に多くのブリがかかると、1本1本が1万円札に見えたほどで、帰ってからまち全体がその日のブリで盛り上がるんです。反対に取れない日も、取れるようにと宴会を開いたりして、本当にまちが活気づいていました。昭和20年代後半は、約140人の従業員がいましたが、今はわずか22人で頑張っています。



写真の左から、椎野正 組合長、石垣誠、秋山稔、高橋征人 副組合長、松本重男 漁撈長（共栄定置）、原竜二、角石道夫 漁撈長補佐（敬称略）



ブリの大漁にわく漁場
(昭和29年)

大漁のころの様子は どうですか

今では考えられないことがあります。アジのころは、あまりにも取れ過ぎて魚倉に入りきらず、デッキから海へ帰りました。ウマヅラハギは習性で網にかかると思がないので、大漁過ぎてだんだん網が水面に浮いてきちゃって、あわてて網を切つて逃がしましたよ。さらにデッキに上げたら足の踏み場もなく長靴にウマヅラハギのとげがたくさん刺さって痛くて大変でしたよ。

今の定置網漁はどうですか

漁業全体に後継者不足だね。一度陸（おか）に上がったら、海には戻ってこないからね。

昔は、海へ出たくとも、人より船が足りなくて、順番待ちして交替で出たところが信じられねえね。また、今は魚がとれないのに、卸値が下がったりして大変だよ。陸が榮えて、夜も明るいものだから、魚も寄りつかなくなつてしまったのかもしれない。ブリも年間5〜10本しか入らないしね。

この新しい定置網に 何を期待しますか

大きな願いが3つあります。1番目に「たくさん魚をとる」2番目に「消費者に安定した供給をする」3番目に「漁業経営の安定化と近代化を図る」ことです。また、漁労技術の伝承にも一役かかってもらいたいですね。毎日目まぐるしく潮が動く海に定置網を張る技術は、熟練したものだけが、微妙な感覚でできるものだから。

小田原の魚はうまい！地元の食卓をすべて小田原で取れた魚で飾ることができれば最高ですね。

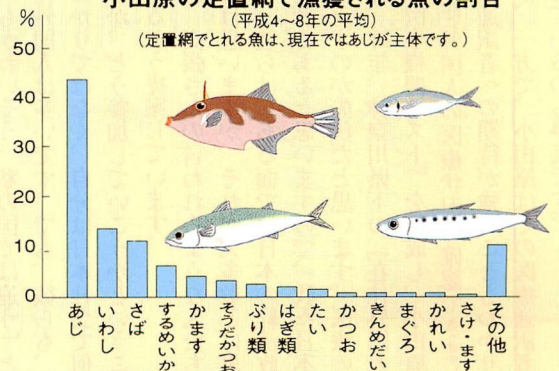


ハイテク定置網の模型（1/150）
県水産総合研究所相模湾試験場（早川）では、毎日、ワイヤーの強度、イカリの固定力、浮子の浮力など研究しています

定置網は本市の基幹漁業

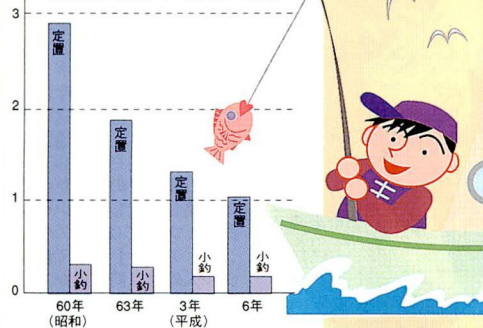
県内の沿岸漁業の総漁獲量は2万tですが、そのうち40%が定置網漁業で漁獲されています。また相模湾西部の定置網で漁獲される量の90%以上は、市と周辺地域で消費されているため、定置網漁業は極めて重要な漁法のひとつです。市内には現在、米神・石橋・小八幡の3漁場に定置網があります。

小田原の定置網で漁獲される魚の割合 (平成4~8年の平均) (定置網でとれる魚は、現在ではあじが主体です。)



小田原の漁獲における定置網と 小釣漁業の比較

(小釣漁業の漁獲はほぼ一定なのに対し、定置網での漁獲が年々減少しています。)



歴史街道 小田原を愛した人々⑩
小田原文学館館長 三津木國輝

「童謡の故郷白秋山荘」

北原白秋(隆吉)

大正7年(1918)3月5日、

御幸の浜の旅館「養生館」に詩人北原白秋夫妻が投宿した。

北原白秋(本名・隆吉)は明治18年(1885)1月25日、福岡県山門郡沖端村石場(現・柳川市沖端町石場)で、元柳川藩立花家の御用達を勤めた海産物問屋で、祖父の代より酒造業も兼ねた素封家の四男三女の二男として生まれた(長男早世のため嫡子)。父は長

太郎、母はシケ。

幼少より読書欲旺盛で、県立中学伝習館在学中に雑誌「文庫」に投稿した短歌一首が掲載され、以来同誌の新進として参加し、これを機に文学をもって志を立てる決意をした。

明治37年(1904)中学伝習館卒業を目前に中途退学し上京、早稲田大学に入る。のち与謝野寛(鉄幹)に請われて「明星」に参加、

石川啄木・吉井勇・木下杢太郎・

長田秀雄らと交わり詩作に励んだ。明治42年3月、処女詩集「邪宗門」を出版し、詩壇の注目を集め、以後数多くの詩・歌の発表をして賞賛を受け、明治44年(1911)10月「文章世界」の明治十大文豪投票では、詩人の部第一位に入選した。

白秋は、上京後、東京、横浜をはじめ、三崎・小笠原父島など各地を転居したが、小田原へは胸を病む妻章子の転地療養のためであった。

養生館に投宿して間もなく、近くに住む音楽評論家二見孝平の紹介で別荘地として知られるお花畑(南町3丁目)に居を移した。ちょうどこのころ、鈴木三重吉主宰の児童文学雑誌「赤い鳥」が創刊され、白秋は童謡と児童自由詩を担当することになり、7月創刊号に寄せた「栗鼠、栗鼠、小栗鼠」から始まる白秋童謡は以後数多く発表されるが、その大多数の作品が小田原時代の作品である。

お花畑のような別荘地帯での生活に馴染めない白秋に同情した聖



木菟の家

十字教会の宮沢九万象牧師の紹介で、十月天神山の浄土宗樹高山伝肇寺の八畳一間の離れに転居した。当時の伝肇寺周辺は閑静な所で、閑院の宮別邸、益田孝(鈍翁)の掃雲台、野崎廣太(幻庵)の閑草舎などの広大な別荘があった。伝肇寺に移って間もない10月25日、小田原中学校(現・小田原高校)の生徒数人が小林好日先生に連れられて白秋宅を訪れた。その際白秋からその才能を認められた藪田義雄と同級の府川恵造は白秋門人となった。府川恵造はその才能を惜しまれながら、若くしてこの世を去ったが、藪田は以後24年間ずっと白秋の側にあつて「白沙の駅」をはじめ多くの作品を残している。

白秋は天神山伝肇寺に移った翌

月から、雑誌「大観」に長編散文詩「雀の生活」の連載をはじめたのが好評で、これによって窮乏の白秋一家が救出されたといわれている。葛飾時代からの苦しい生活の中で、米櫃の底からの米粒を雀に与えながら「今はこうして雀さんに米粒をやるが、いつか雀さんが私達を助けてくれるわね」と呟いた妻子夫人の言が現実となつたわけだ。

大正8年春、白秋は伝肇寺境内を借り受けて山荘建設を計画した。鈴木三重吉をはじめ関係者は短冊・半折領布会を催すなどして、資金調達に協力し、8月に完成した。山荘は小笠原島民の家を模した茅葺屋根に稗壁で「木菟の家」と命名された。



小田原時代の白秋夫妻と長男隆太郎(大正12年)

お屋根は萱で、壁は藁
小窓のお眼々が右ひだり
お鼻の入口、這入りやんせ。
木菟、ぼうぼう
内から、ぼうぼう

白秋は翌9年さらに隣接地に3階建の赤い瓦の洋館建設に着手し、5月2日地鎮祭(上棟式)に、隣地伊沢別荘の建設予定地を借り、盛大な園遊会が行われ、さらに料亭花菱に席を移して二次会が行われた。そこで遅れて東京から馳せ参じた白秋の実弟鉄雄と、義弟山本鼎からけたはずれの園遊会について「はげしく責め立てられた白秋夫人章子は座をたち、東京へ帰る人のために用意された車に乗って姿を消してしまつた。この時、「お送りしましょう」と同乗したのが前々から白秋宅に出入りしていた、

雑誌「大観」の記者池田林儀(報知新聞)であつたところから、不倫の関係のよういわれているが、実情はどうであつたろうか。後日章子は白秋の親友谷崎潤一郎を頼つたが2人の仲は好転せず、5月25日離婚となり、白秋の元に帰ることはできなかつた。また谷崎もこの時以来白秋と絶交となつてしまつた。谷崎はこの時の追想を「あまり親しみ過ぎた結果、自分に全くその資格がないのを顧みず、氏の家庭にまで立ち入つて口をきいたのが原因で、



白秋童謡碑 伝肇寺境内



赤い瓦の白秋山荘と茅葺屋根の木菟の家

の半折を瓦師門松に渡した。
大正10年4月28日、美術評論家河野桐谷夫人喜久子の世話で、大分出身の佐藤菊子と

みみずく
みみずく春の支度に
かかりやんせ
赤い瓦がふけたぞなもし

の短冊を棟梁込山に

若き大工も涙ながしぬ
百舌なければ紺の腹かけ新しき

遂に白秋氏の怒りを買ひ、その後会うことができないうようになったのである。」と書いている。
白秋山荘は12月には完成し、大工棟梁込山吉太郎と瓦職門松福太郎が工事費の精算に訪れた際、「今は半金しかない。あとはもう少し待ってくれ。これは証文代わり」といつて

結婚。11年3月29日に長男隆太郎、14年6月28日には長女篁子をもうけ、家庭的に安息を得て創作活動も盛んで、詩・短歌・俳句・小説・評論と全分野にわたる活躍をしており、後生に残る数多くの作品を発表している。その中でも特に注目したのは童謡であり、「とんぼの眼玉」「菟の電報」「祭の笛」「花咲爺さん」「子供の村」「二重虹」の童謡集と、訳童謡集「まざあぐうす」で子供のころ、口ずさんだ歌も多く、その中には小田原とその周辺の風物が多く歌われている。

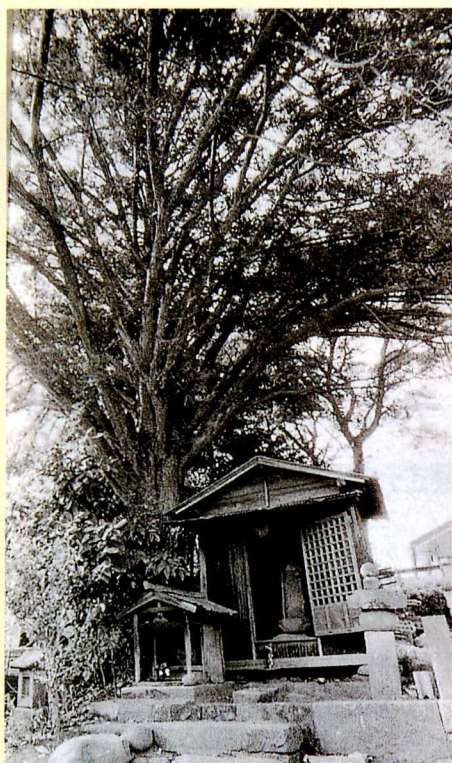
小田原時代の白秋は創作活動を続ける中、地元文学者との交流を深めるとともに、さらに足柄史談会にも参加して史跡・名勝の保存にも努めている。

しかし、木菟の家も、赤い瓦の洋館も大正12年9月1日の関東大震災によって半壊してしまつた。それでも廃墟のような家屋を修理し、不自由な生活に堪えていたが、大正15年5月、8年余にわたる小田原生活に終わりをづけ、東京谷中の天王子に移つていつた。

白秋の小田原退去について、門人である詩人藪田義雄は「北原白秋と私」に、「白秋が57年の文学的生涯において、自分の持家で生活したことは小田原以外にはない。転々と居を代えたこの詩人が同じ土地に8年間も腰を据えて倦まなかつたのは、小田原の自然や人情がこよなく愛されていた何よりの証左であろう。関東大震災によって、その山荘が半壊して居住できなくなつたため、止むなく東京に居を移したわけで、もしこうした不測の災害がなかつたら永住したかも知れない。」と書いている。

昭和32年5月26日、藪田義雄・大木惇夫をはじめ関係者の尽力により、伝肇寺境内に「赤い鳥小鳥」の童謡碑が建立され、小田原市郷土文化館に併設して「白秋記念室」が設置された。その際、菊子未亡人をはじめ関係者から多くの遺品資料が寄贈された。

※1月1日号の陸援隊を統率していたこのころの田中光顯写真が高知県青山文庫の提供であることを追記し、お詫びします。



童謡「かやの木山」(山田耕苾作曲)を生んだ伝肇寺境内のかやの大木とカヤの木地藏。(大正11年10月)

小田原アリーナフィットネススタジオ会場

託児あり

気功太極拳

指導：永井康江さん（楊名時太極拳師範）
你好！（ニイハオ）大宇宙のエネルギーを身体の隅々に取り入れ、気と血の流れを活発にし、人が本来持っている自然治癒力を高め、病気に対する抵抗力を養い、健康で幸せな生活のお手伝いをします。

3月7日(土)
午前10時～11時30分
定員 20人

初めてのジャズダンス

指導：川口雅子さん
（日本ジャズダンス芸術協会会員）
ダンスは、全身を使った感情の表現方法です。踊ることによって感性を引き出し、情操豊かで健やかな身体を養います。今回は、ストレッチと首・手・ステップ等の基礎レッスンですので、初めての方でも気軽にできます。

3月7日(土)
午後3時～4時30分
定員 20人



体がつらい人のためのやさしい健康法

指導：津田偉司さん
（東洋健康技術研究家）

体がつらい、気功やヨガが良いとは聞いているが、何となくついていけそうもない…。

こんな人達のために、自分自身の日常生活での動きを正す事によって、楽しく少しずつ調整をしていく東洋の知恵を学び、体験してみませんか。

3月8日(日)
午前10時～11時30分
定員 20人

足心道（足揉み健康法）

指導：山崎成子さん
（足心道指導員）
杉本澄子さん
（足心道指導員）

身体の異常は、いち早く足にあらわれます。足の変化をチェックし、揉みほぐすことで、末梢神経・経絡に刺激をあたえ、身体を整える健康法です。手で揉むので、やさしく、安全で安心、しかも大変気持ちのよいものです。

3月8日(日)
午後1時30分～3時
定員 20人



知っておきたい薬の知識

講師：櫻木達夫さん（薬剤師）

患者さん中心のきめの細かい、質の高い医療の実現には、患者さん自身が薬事知識を持つことが必要です。薬事知識？学ぶ機会は少ないですね。この機会に薬のことを楽しく、わかりやすくお伝えできればと思っております。

3月8日(日)
午後1時30分～3時
定員 30人



小田原駅前ふらっとスポーツ会場

人はなぜ病むのか—東洋医学に学ぶ



講師：窪倉明雄さん
（精神保健医、日本東洋医学会認定医、健康スポーツ医）

医学が進歩してもなお、病人の数は増え続け、原因がわからない病気も多い。だが、病気には必ず原因があるはず。人はなぜ病むのか。病気を治すにはどうしたらよいのでしょうか。

東洋医学の知恵を借りると検査に現れない体の異常の原因究明に示唆をあたえてくれます。

3月7日(土)
午後1時30分～3時
定員 30人

上手に食べよう—元気に暮らすために

講師：高橋素子さん（管理栄養士）

「食生活をもっと大事に考えてくださったら、成人病は防げたのに…」25年間の病院勤務での思いを胸に、少しでも多くの方にお話しができたらと、おだわら塾に登録いたしました。

毎日の食生活こそが、健康で幸せな暮らしの土台です。食事について、一度、一緒に考えてみませんか。

3月8日(日)
午前10時～11時30分
定員 30人



小田原テニスガーデン会場

中高年のための硬式テニス教室（初級コース・中級コース）

指導：山本隆一さん（元長崎海星高校テニス部顧問）

健康のために体を動かしたいとお考えの中高年のみなさん。テニスをしてみませんか。「この年からテニスを始めるの?」と思いませんか。とんでもありません。テニスは一生できるスポーツですよ。基礎から楽しいゲーム運びのコツまでお教えします。

3月8日(日)
午後1時～3時
定員 初級中級とも10人
ラケット・ボール持参



学びたい人をサポート

きらめき☆おだわら塾をご存じですか？皆さんの生涯学習活動のための講師を紹介する生涯学習ボランティア人材バンクです。現在、9分野に118人と20団体が登録されています。

平成8年11月に、幼稚園での竹とんぼづくり教室に講師を派遣して以来、講演会、講習会、勉強会などに延べ180人の市民教授を派遣し、受講者は8,000人になりました。



青果市場だより

～食卓に新鮮な野菜を～



～旬のかぶを食べよう～

＜かぶ＞

ほんのりと甘く、柔らかなおいしさで、古い時代から親しまれてきたかぶ。実はイランやアフガニスタンが原産地です。別名、かぶら、すずなどともいって春の七草の一つ。根の色によって「白かぶ」と「色かぶ」があります。白かぶはさらに根の形や大きさによって、いろいろ種類があります。主に根を食べますがビタミンの豊富な葉も残さず食べることをお勧めします。

中国では三国志時代、蜀の軍師「諸葛孔明」が戦陣を進めるごとにかぶを作らせ、食料の補いとしていたという話があります。そのため、諸葛菜の名もあります。

日本では江戸時代から消費されている伝統的野菜で、地方によって品種が様々あり、約80種類あるといわれています。

今では夏以外は1年中出回っていますが、この時期のかぶは甘みがあり、一番おいしいので、ぜひ1度お試しください。

・薬効・栄養・・・かぶは根、葉とも低カロリー食品ですが、葉にはカルシウム、鉄分が比較的多く、またビタミンAとCが豊富です。根にはビタミンB1、B2が豊富に含まれています。根と葉には少量の含硫物質があるので、葉の繊維とあわせて解熱作用を促進します。



協力
小田原青果商業協同組合 志村屋青果店（栄町）

- ・見分け方・選び方・・・白かぶは根の部分が丸く、ひび割れがなく白いのがよいでしょう。葉がイキイキしているのが新鮮な証拠。同じように色かぶは色やツヤ、葉の状態がチェックのポイントです。
- ・料理法・扱い方・・・火の通りが早いので、すぐ柔らかくなります。煮すぎてせっかくの歯ざわりの良さを損なわないように。丸のままゆでると皮も簡単にむけます。急ぐ場合には半切りにするとよいでしょう。甘みを生かすため、味付けはうすくするのがおいしさのコツです。
- ・保存のしかた・・・水分が蒸発しやすいので、霧を吹いて、葉を切り落とし、根と別々にポリ袋に入れて冷蔵庫で保存してください。
- ・豆知識・・・餅を切るときに横にかぶを

置き、かぶと餅を交互に切れば、包丁につかずうまく切れます。

公設青果市場

年間取扱量	395 t
年間取扱金額	7,038万円
主な産地	神奈川、埼玉

クッキング・ノート かぶのマルセイユ風煮込

料理方法（4人分）

・材料

かぶ400g サワークリーム 50g
にんじん 80g 塩少々
固形スープの素 1個 ロリエ 1～2枚
白ワイン

- ①かぶは葉先を2cm位付け、1/6～1/8に切る。にんじんはシャトーに切る。（輪切りでも良い）
- ②鍋に白ワイン、水（水の代わりに全部白ワインでも良い）、固形スープの素、ロリエを入れ、先ににんじんを煮る。（材料がひたる位の水量）
- ③にんじんが半煮えになったらかぶを入れる。（味が足りなければ塩を少々ふる）
- ④お皿に彩り良く盛り付ける。
- ⑤サワークリームのソースは白ワインのアルコールを飛ばし、サワークリームを加えてマヨネーズより少し柔らかかめになれば出来上がりです。

相談ノートの余白 (4) 今、父親に期待すること

生きがいや自己実現を図るために職業に就く母親が増加するなど共働きの家庭が7割近くにもなっています。

それにもかかわらず、子供の教育に関することがほとんど母親に委ねられていて、子供と父親の関わりが薄い状況にあると言われています。このことは、男性の3人に2人が「家庭教育について自ら無責任だと認識している」という昨年度の読売新聞の世論調査からもうなずけます。

教育研究所の教育相談に、昨年1年間で約440件あった教育相談の実に63%（275件）が不登校に関するもので、母親からの相談が圧倒的に多く、父親からの相談はわずか1.7%という状況になっています。

不登校は全国的に年々増加の傾向にあり、その解決に向けての取り組みが教育上の大きな課題となっています。その原因は、家庭・学校・地域社会のそれぞれの要因が複雑にからみ合っているといわれており、生活態度のしつけ、生活体験など家庭教育の問題もそのひとつです。また、不登校になり

やすい小学校高学年から中学生の時期は情緒的に不安定になったり、自分の世界に閉じこもりがちになる時期だと言われています。そういう時期の子どもをどう励まし、指導していくかは親としての大きな役割ではないでしょうか。そのためには、母親と父親の両方のはたらきが重要だと思います。仕事と同時に、家庭人として子供の教育に積極的に関わり、父親ならではの特性（父性）を発揮することが今、求められています。



教育相談員 加藤紀十

☎ 教育研究所 ☎ 33-1727

国民年金保険料 社会保険料控除で税金も安くなります!

参考：平成9年中の国民年金保険料

納付方法	金額		合計
毎月納付	定額	平成9年1～3月 12,300円 4～12月 12,800円	152,100円
	付加	上記金額に月額400円 年額4,800円を加算	156,900円
1年前納	定額	年額	149,890円
	付加	年額	154,570円
6カ月前納	定額	6カ月分	75,950円
	付加	6カ月分	78,320円

平成9年1月から12月までに支払ったあなた自身の国民年金保険料と、あなたが支払った配偶者やその他親族の国民年金保険料は、全額「社会保険料控除」としてあなたの所得から差し引かれ、課税の対象になりません。

●国民年金保険料のミニ知識

- ①納め忘れがあると次のようになります。
 - ・「社会保険料控除」の対象になりません。

・満額の年金が受けられなくなるばかりでなく、万一の事故などの時に障害年金などが受けられなくなることもあります。

②経済的な事情のため支払いが困難な方には、保険料の免除制度もありますのでご相談ください。免除に該当した方の保険料の3分の1については国が負担します。

③1月末に送った「国民年金保険料納付済額のお知らせ」は、確定申告または市県民税申告をするときに「社会保険料控除」として利用できますので、申告の際は、控除の手続きを忘れないようにしてください。

☎ 保険年金課 ☎ 33-1867

市議会 3月定例会の予定

主な会議

2月24日(火) 本会議

(施政方針演説・提出議案などの説明)

3月3日(火)～5日(木) 本会議 (各会派代表質問)

11日(水)～13日(金)・16日(月)・17日(火)・19日(木)
(予算特別委員会)

26日(木) 本会議

(予算特別委員会審査結果報告)

*本会議・予算特別委員会は午前10時開会

*会議の日程・時間などは変更になることもあります。

*代表質問項目一覧を2月末から支所・連絡所と図書館で配ります。

☎ 議会事務局 ☎ 33-1761

市役所の郵便番号が変わります 新郵便番号250-8555

2月2日から市役所専用(本庁に限り)の郵便番号が設定されます。この郵便番号と宛先の課名を記載すれば、所在地などの記載を省略することができます。

(例) 250-8555 小田原市役所広報聴課

☎ 行政総務課 ☎ 33-1294

読書ノート・読書感想画コンクール入賞者

両コンクール合わせて、市長賞5点、入選65点、佳作116点が選ばれました。(敬称略)

市長賞

読書ノートの部 内野伸太郎(下管我小3年)

読書感想文の部 鎌田優花(酒匂小5年)・岡本沙織(白鷗中2年)

読書感想画 吉田俊太(片浦小2年)・添田亮太郎(城北中3年)

☎ 市立図書館 ☎ 24-1057

小田原の文化財⑤

小田原城跡

小峯の大掘切 (城山公園隣)

(国指定史跡)

いつ敵が攻めてくるかもしれない戦国時代には、城と城下町を外敵から守るために総構と呼ばれる土塁と空堀が各地で築られました。

北条氏は、天正18年(1590)に豊臣秀吉が小田原を攻める前には、市街地を広く取り込み、全周で約9kmにもなる大規模な総構を完成させました。その中でも小峯の大掘切は、城の背後の守りを固めるため、山の尾根の上に3つの空堀を組合せた非常に巧みなもので、このうち一般に公開されている東堀は、幅25m、深さ10mと巨大で、中世最大の規模を誇るものです。

この空堀は、戦国時代の姿をそのままにとどめている代表的なもので、この地を訪れると当時の小田原城の壮さや堅ろうさを今でも思い起こすことができます。



☎ 文化財保護課 ☎ 33-1714

今月の納税 固定資産税・都市計画税

(第4期分)

納期限は3月2日(月)です。

口座振替払いの方は、預金残高の確認を

☎ 資産税課 ☎ 33-1361

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

就職相談会

今春卒業の高校生・学生・中途退職者を問わずご参加ください。小田原市・南足柄市・秦野市・足柄上下郡を中心に企業が参加し、説明・面接などを行います。

日時 2月24日(火)午後1時～4時

場所 中央公民館

☎ 商工会議所 ☎ 23-1811

公共職業安定所 ☎ 23-8609

商工課 ☎ 33-1513

生産緑地地区の変更

12月25日から小田原都市計画生産緑地地区の一部が変わりました。関係図書は都市計画課(市役所6階)でご覧になれます。

☎ 都市計画課 ☎ 33-1571

2月7日は北方領土の日

☎ 行政総務課 ☎ 33-1291

市民相談

February

2月

①一般相談	休日を除く毎日	
②防災相談	午前9時～午後4時	
③法律相談(予約制)	4日(水)・18日(水)	
	25日(水)	午後
④税務相談	17日(火)	1時30分
⑤宅地建物取引相談	26日(木)	～3時30分
⑥登記相談	12日(木)	
⑦心配ごと相談	2日(月)・9日(月)・16日(月)	
	23日(月)午後1時～3時30分	
⑧人権擁護相談	10日(火)・24日(火)	
	午後1時～3時	
⑨行政苦情相談	19日(木) 午後1時～4時	
⑩教育相談	6日(金)・13日(金)・20日(金)	
	27日(金) 午前9時～11時30分	
⑪消費生活相談	6日(金)・13日(金)・20日(金)	
	27日(金) 午前9時～午後4時	

問い合わせ

市民相談室

☎ 33-1383

税・年金・手当

特別土地保有税の申告納付

2月 は取得分の申告納付月

特別土地保有税は、一定面積以上の土地の取得と保有に対して、固定資産税とは別に課税される税金です。そして、納税義務者自身が税額を計算し、申告納付する制度となっています。今月は取得分の申告納付月ですので、次の要件に該当する場合には忘れずに申告納付してください。

●対象となる土地の取得

非課税項目に該当しない土地を、平成9年中（1月1日から12月31日まで）に合計で1,000㎡以上取得した場合。

●非課税

住宅用地として使用している土地、農林業の経営規模拡大などのための土地の取得については、非課税となります。

●徴収猶予

次のようなときは、申請により認定されると税金の徴収が猶予されます。

- ①近い将来に自ら住宅用地として使用する具体的な計画があるとき。
- ②一定の条件を満たして、自ら宅地造成をして譲渡する計画があるとき。

●納税義務の免除

次のようなときは、申請により認定されると納税義務が免除されます。

- ①事務所・店舗・工場などの建物の敷地として使用されているとき。
- ②駐車場・資材置場などの施設の敷地で整備状況、利用状況が一定の水準以上であるとき。

☎ 資産税課 ☎ 33-1365

所得税と市・県民税は3月16日までに申告を

2月16日(月) から3月16日(月) までの1か月

間は、所得税と市・県民税の申告期間です。早めの申告を。

《所得税》

◆確定申告が必要な方

①事業所得や不動産所得などがあり、平成9年中の所得金額の合計額が、各種の所得控除の合計額を超える人

②給与所得者

- ・平成9年中の給与収入が2,000万円を超える人
- ・給与以外の所得が20万円を超える人
- ・2か所以上から給与を受けている人

◆確定申告の受付

2月16日(月) から税務署で行います。提出は郵送でも可能です。還付申告書などは、市役所の市民税課でも受け付けます。なお、青色申告、譲渡所得、新たに事業所得などのある方は、税務署で申告してください。

◆期間中は、混雑しますので、次の点に注意してください。

- ・昨年の控えをお持ちください。
- ・医療費控除を受けられる方は、必ず領収書の合計額を算出してきてください。
- ・収支内訳書は、作成してきてください。

◆税理士会が所得税、消費税の無料申告相談所を開きます。

時間 午前9時30分～午後4時

●2月17日(火)～20日(金) マロニエ

●2月23日(月)～25日(水)

農業協同組合本店

●2月16日(月)～19日(木)

小田原駅前ふらっとスポット

◆納税

所得税は、3月16日(月) までに最寄りの金融機関、郵便局または税務署で納めてください。

《市・県民税》

◆申告が必要な方

①平成10年1月1日現在市に住所があり、平成9年中に所得があった人（税務署に確定申告をした人は、市・県民税申告は不要です。）

要です。）

②平成9年中に配当所得があった方で、源泉分離課税を選択した人

③市外に住んでいるが、市内に事務所や家屋敷のある人

④そのほか、申告書の送付を受けた人（申告書の用紙は、2月上旬に郵送します。）

◆申告の受付

市・県民税の申告は、市役所の市民税課（窓口9番）で受け付けます。

◆申告相談

月日	時間	場所
2月17日(火)		
2月18日(水)	午前9時30分～11時	マロニエ
2月19日(木)	午後1時～4時	
2月20日(金)		
2月23日(月)	午前9時～11時	曾我支所
	午後1時～4時	下曾我支所
	午前9時～11時 午後1時～4時	橘支所
2月24日(火)	午前9時～11時	富水連絡所
	午後1時～4時	
2月25日(水)	午前9時～11時	片浦支所
	午後1時～4時	小田原魚市場 (水産海浜課)
	午前9時～11時 午後1時～4時	大窪支所
2月26日(木)	午前9時～11時	尊徳記念館
	午後1時～4時	
2月27日(金)	午前9時～11時	上府中支所
	午後1時～4時	豊川支所
	午前9時～11時	郷土文化館

◆申告に必要な書類

①申告書

②所得の明細書（源泉徴収票、雇用主の給与支払証明書、収支の明細書など）

③所得から差し引かれる各種控除の領収書

◆申告書の記載は、郵送された「申告書」に同封してあります「申告書の書き方」を参考に、ご自分で記載してください。

☎ 小田原税務署 ☎ 35-4511

市民税課 ☎ 33-1351

広報おだわら 県広報コンクールで2年連続最優秀に

☎ 広報広聴課 ☎ 33-1261

県内各市町村が作る広報紙から優秀なものを表彰する県広報コンクールの審査会が12月行われ、広報おだわらが2年連続で最優秀に輝きました。昨年は全国広報コンクールでも2席に入選しており、これから行われる全国の審査会の結果が待ち遠しいところです。

広報おだわらは、市民の皆さんと市役所とのコミュニケーションをつなぐ大切な広報紙です。これからも、もっともっと皆さんに親しまれる広報紙をお届けしたいと思っています。皆さんの意見をお聞かせください。

広報おだわらを2月9日まで市役所2階市民ロビーで展示します。

最優秀に選ばれた広報おだわら10月1日号



市民税・県民税の特別減税

平成10年度は、「定額控除」方式で、本人・配偶者・扶養親族ごとの減税額を設定し、税負担を軽減する特別減税が実施されます。ただし、市・県民税の納税額が減税額より少ない場合は、納税額の範囲内にとどまります。

本人 8,000円

配偶者 4,000円

扶養親族（1人につき）4,000円

減税は6月に実施します。ただし、サラリーマンは、6月の市・県民税を徴収せず、減税分の控除額を除いた額を7月から翌年5月まで徴収します。

☎ 市民税課 ☎ 33-1357

民踊の集い

日時 2月8日(日)・22日(日)・3月8日(日)・22日(日)午後7時～9時
 場所 スポーツ会館
 参加料 350円
 民踊協会・譲原 ☎ 48-0665

フォークダンス1日教室

日時 2月15日(日)午前10時～正午
 場所 小田原アリーナ
 参加料 200円
 フォークダンス協会・山居 ☎ 22-1667

卓球教室

日時 2月19日(木)・24日(火)・3月3日(火)・10日(火)・12日(木)午後6時30分～8時30分
 場所 小田原アリーナ
 定員 市内在住・在勤・在学の小学生以上40人・先着順
 参加料 1,500円
 申込 2月17日(火)までに、
 体育協会 ☎ 24-0343

小田原テニスガーデン 臨時休場・2月18日(水)

2月18日(水)は整備のため使用できません。
 小田原アリーナ ☎ 38-1144

募集

人員、作品、参加者の募集など

市職員(保健婦)

募集人員 若干名
 受験資格 保健婦資格を取得または取得見込みの昭和28年4月2日以降に生まれた人
 申込方法 市販の履歴書に必要事項を記入して持参
 試験日時 3月13日(金)
 採用予定月日 4月1日(水)
 申込 2月20日(金)までに、
 職員課 ☎ 33-1241

臨時給食調理員

対象 パート(週5日)若干名、午前8時30分～午後3時、時給770円、調理と食器の洗浄、45歳まで
 申込 2月10日(火)までに、
 学校給食センター ☎ 36-7512

'98ミス小田原

平成10年度ミス小田原を募集します。
 応募資格 市内に在住・在勤・在学する18

教育委員会の臨時職員台帳登録者

臨時職員台帳への登録を希望する方を募集します。登録者には、臨時職員が必要になり次第随時連絡をします。採用の時期は未定です。募集職種と仕事の内容は別表のとおりです。

申込 履歴書に必要事項と希望の職種(複数でも可)などを書いて、
 〒250-8555 小田原市役所の各申込先に送付

賃金は、平成9年度の額です。

職種	仕事の概要	勤務時間	賃金	申込先
臨時給食調理員 給食作業員	学校給食の調理作業	1日 8時間	日給6,160円	学校保健課 ☎ 33-1693
米飯パート	米飯給食実施日の洗浄作業 週2日の勤務	時間パート	時給770円	
受入パート	学校給食センターなどから運ばれてくる学校給食の受取作業、食器の洗浄作業、学校給食センターなどへの食器の返送作業			時間パート
障害児介助員	小・中学校の障害児の介助	時間パート	時給770円	学校教育課 ☎ 33-1682

歳以上の未婚の女性(高校生を除く)で平成10年度に行われる観光行事や市の公式行事に参加できる方

申込方法 応募用紙に、履歴書用写真(5cm×5cm)2枚を添え、2月13日(金)までに(郵送可、消印有効)

申込 〒250-0014 小田原市城内1-21
 小田原市観光協会 ☎ 22-5002



国体炬火リレー走者 “ゆめ”駆けめぐる城下町

実施日時 10月17日(土)
 募集人数 130人
 参加内容 国体炬火リレー走者として市内をリレー
 申込 2月13日(金)までに(当日消印有効)
 〒250-8555 小田原市役所国体推進課
 「炬火リレー走者募集」係 ☎ 33-1668

税・年金・手当

納税、年金、各種手当について

児童手当・特例給付 2月は10月～1月分の支払期

今月は、児童手当・特例給付の支払期(10～1月分)です。あなたの指定された金融機関に2月10日に振り込みます。整理期間がありますので、2、3日後にお受け取りください。
 児童福祉課 ☎ 33-1453

市民プラザ

映画

「住民が選択した町の福祉」

日時 2月21日(土)正午開場
 午後0時30分 映画
 午後2時50分 岩川徹鷹巣町長講演会
 場所 中央公民館
 会費 500円 託児あり(2歳～就学前)
 申込 上映実行委員会・市川 ☎ 22-8612

手作り絵本展と絵本講習会

●手作り絵本展
 日時 2月18日(水)午前10時～午後3時
 場所 梅の里センター
 ●絵本講習会
 日時 2月18日(水)午前10時～正午
 場所 梅の里センター
 定員 20人・先着順
 費用 300円
 申込 おだわら手作り絵本の会・阿久津
 ☎ ☎ 36-3790

新しい国民健康保険証はお届けですか

国民健康保険証が昨年10月に新しくなりました。まだ、お手元に届いていない方はご連絡ください。

保険年金課 ☎ 33-1845

老人保健法医療受給者証が新しくなりました。届かない方は連絡を

老人保健法医療受給者証(70歳以上の方と一定の障害のある65歳以上の方が対象)が、2月1日から新しくなりました。まだ医療受給者証が届いていない方は、ご連絡ください。

保険年金課 ☎ 33-1843

講座・教室

動く市政教室・一般公募

魅力あるまちづくりを市民の皆さんといっしょに考えるため、自治会などの団体や個人を対象に公共施設見学会を開催しています。

今回は、個人や小グループ（3～4人）で参加できる一般公募です。消防本部や環境事業センターを見学してみませんか。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日時 3月13日(金) 午前9時～午後4時

集合 市役所前(午前9時)

小田原駅西口(午前9時10分)

見学場所 環境事業センター、小田原アリーナ、溪流の梅林、消防本部

対象 市内在住の18歳以上・30人・先着順

申込 2月27日(金)までに、

広報広聴課 ☎ 33-1263

郷土文化館の歴史探究会
後北条氏ゆかりの河村城跡をたずねて

戦国時代・後北条氏の支城であった、山北の河村城跡をたずねます。

日時 2月15日(日) 雨天中止

コース 山北駅(午前9時20分)～河村城跡～洒水の滝～山北駅(解散午後3時)

交通費は自己負担

講師 小田原城郭研究会・小笠原清さん

定員 小学校4年生以上・40人・先着順

申込 2月7日(土)から、

郷土文化館 ☎ 23-1377

こども

児童対象の行事など

スタディーズプラザ
人形劇と紙芝居と親子映画会

期日 2月14日(土)

内容 ①午前10時～正午 人形劇「森の音楽

会」・紙芝居「ルラルさんのバイオリン」
②午後2時～3時30分 映画「ちびっこカムのぼうけん」

場所 国府津公民館

定員 市内在住の幼児・小学校低学年と保護者・各時間70人・先着順(当日受付)

問 国府津公民館 ☎ 48-2035

親子で遊ぼう

日時 2月27日(金) 午前10時30分～11時30分

場所 いそしぎ

定員 3歳以上で幼稚園・保育園に通っていない幼児と保護者・30組・先着順

申込 2月10日(火)までに、

子育て支援センター ☎ 34-0465

アニメ

A 尊徳記念館会場

日時 2月14日(土) 午前10時～、午後2時～(開場は10分前)

定員 60人

プログラム 世界の作曲家 モーツァルト(23分)、ぼけっとの海(11分)、ミッキーマウスのバレンタインデー(9分)

問 尊徳記念館 ☎ 36-2381

B かもめ図書館会場

時間 午後1時30分～(1時開場)

定員 180人

プログラム

①2月1日(日) 鬼の子と雪うさぎ(22分)、少年モーグリ 狼少年モーグリ(25分)

②2月8日(日) とべないホテル(17分)、少年モーグリ 狼王アレキサンダー(25分)

③2月15日(日) 美しいさいごの葉(19分)、少年モーグリ おきてより大切なもの(25分)

C 市立図書館会場

時間 午後1時30分～(1時開場)

定員 80人

プログラム

①2月15日(日) ハチ公物語(18分)、雪渡り

(23分)

問 B Cとも、かもめ図書館 ☎ 49-7800

スポーツ

各種スポーツ大会、講習会など

西湘地区体育センターの
エンジョイスportsサンデー

日時 2月15日(日) 午前10時～午後4時

場所 西湘地区体育センター

内容 トランポリン・テニス・バドミントン・卓球・ソフトボールなど

受付 当日会場にて

問 西湘地区体育センター ☎ 48-2650

実業団対抗駅伝競走大会

日時 2月15日(日) 午前9時

コース 7区間33.4km

●第1区(6.4km) 城山陸上競技場スタート～飯倉橋～市農協本店前(9時20分)

●第2区(2.8km) 市農協本店前～国府津公民館前(9時30分)

●第3区(5.2km) 国府津公民館前～中河原信号～曾我ガーデンセンター～小田原球場前(9時46分)

●第4区(4.4km) 小田原球場前～報徳橋～明治製菓入口(10時)

●第5区(4.0km) 明治製菓入口～川崎陸送小田原営業所前(10時13分)

●第6区(3.8km) 川崎陸送小田原営業所前～環境事業センター前～舟原公民館(10時27分)

●第7区(6.8km) 舟原公民館～市役所前～城山陸上競技場(10時49分)

※事故防止のため、車による応援は一切禁止いたします。また、コース周辺において選手通過の際には、交通規制にご協力ください。

問 小田原アリーナ ☎ 38-1147

湘南アマチュアスポーツダンス大会



映画Shall We Dance でおなじみのJADA公式戦。見学は自由です。

日時 3月22日(日) 午前9時～

場所 小田原アリーナ

参加料 1カップル1区分2,000円

申込 2月22日(日)までに、中村 ☎ 42-0862

万歳で祝う 青果市場の門出
今年も元気に初せりが開催

1月5日(月) 紅白幕に飾られた公設青果市場で初せりが行われました。

「万歳 万歳 ばんざい」と今年も張り切るぞといわんばかりの威勢のよい声と拍手が市場にこだまし、今年1年の商売繁盛を願いました。

この市場では年間106億円の取り扱いがありますが、この日の人気者はやはり旬の白菜。年末・年始の食べ疲れ、飲み疲れを野菜がやさしく癒やしてくれるでしょう。

問 青果市場管理事務所 ☎ 48-1551



小田原
彩時記

本のリサイクルフェア

図書館で不要になった本や市民の皆さんからいただいた本・雑誌を差し上げます。

日時 2月21日(土)・22日(日) 正午～午後4時30分(入場は午後4時まで)

場所 かもめ図書館

内容 小説、エッセイ、文庫、趣味の本、子供向けの本、雑誌など一人5冊まで。30分ごとに入場者の総入れ替え。開場1時間前より整理券を配布。

なお、昨年第1回を行い、好評をいただきましたが、大変混雑しましたので、お車でのご来館はおひかえください。

☎ かもめ図書館 ☎ 49-7800

地球博物館・風と土のサロン

日時 2月14日(土) 午後3時～6時30分

場所 生命の星・地球博物館

内容

- 特別展見学「フランツ・ヒルゲンドルフ展～日本の魚学・水産学事始め」
- 講演・対談「相模湾からのメッセージ」 箕島清夫さん・濱田隆士館長(小田原・城下町大使)

参加料 4,000円(懇親会含む)

☎ 申込 生命の星・地球博物館 ☎ 21-1515

講座・教室

講演会・展示・発表

不動産取引知識説明会

不動産の取引に必要な基礎的知識と不動産取得の際の各種税金の相談。どなたでもどうぞ。

日時 2月13日(金) 午後1時～4時30分

場所 市役所

☎ 市民相談室 ☎ 33-1383

☎ 県宅建指導班 ☎ 045-201-1111

おだわら野鳥教室 冬の部

酒匂川周辺を観察し、野生動植物と共生できるライフスタイルを考えましょう。

日時 2月22日(日) 午前9時～正午

場所 しらさぎ会館・酒匂川周辺

定員 市内在住・在勤・在学の方・30人

講師 新井一政さん

☎ 申込 2月9日(月)より、環境保全課 ☎ 33-1481

労働講座

①98年労使交渉の展望と課題

一日経連から見た交渉の行方

日時 2月13日(金) 午後2時～4時

場所 県小田原合同庁舎久野分庁舎(旧小田原労働センター)

講師 日経連・労政部長小柳勝二郎さん

あそびに来てください おだわらシルバー大学文化祭

毎年、各行事の予約はいっぱいになります。お早めにお申し込みください。(先着順)

●その他 掲示発表、まちづくりビデオ上映あり

☎ 申込 2月6日(金)から、社会教育課 ☎ 33-1712



京唄子さん 久能靖さん



2月17日(火) 集合 小田原駅西口 午前10時(終了は午後3時)

内容	定員
史跡めぐり1「文学コース」高長寺・文学碑・伝聲寺・文学館など	50人
史跡めぐり2・マイクロバス使用「一夜城コース」石垣山・辻村植物園	30人

2月19日(木) 集合 栢山駅 午前9時30分(終了は正午)

内容
史跡めぐり3「二宮尊徳コース」松苗栽培地跡・善栄寺・尊徳記念館など

2月21日(土) 場所 マロニエ

時間	内容	定員
午前10時～11時	手品を楽しむ会 楽しみ覚えよう	20人
午前11時～正午	和綴じ本教室 手作り本を作ろう	25人
午前11時～正午	紙芝居・手品公演	無
午後2時10分～25分	コーラス 「ふきのとう」出演	無
午後2時30分～55分	手品公演 「パーティマジック」ほか	無
午後3時～4時	講演会1 京唄子さん「人生はまわり舞台～花も嵐も踏み越えて～」	300人

2月22日(日) 場所 マロニエ

時間	内容	定員
午前10時30分～55分	紙芝居・手品公演「バーコーのかいぶつたいじ」ほか	無
午前11時～正午	講演会2 久能靖さん「話力・接し方」	300人
午後1時～2時	和綴じ本教室 手作り本を作ろう	25人
午後2時～3時	手品を楽しむ会 楽しみ覚えよう	20人
午後2時～50分	紙芝居・手品公演 「らっこの会」「レインボー」	無

②98年春季闘争

一鉄鋼労連の新しい取り組み

日時 2月17日(火) 午後2時～4時

場所 中央公民館

講師 鉄鋼労連・書記長兼子昌一郎さん

定員 ①②とも70人

☎ 申込 ①②は西湘地区行政センター

☎ 22-1151

③男も女もいっしょ

一仕事と介護の両立を考える

日時 2月28日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 中央公民館

講師 鎌倉市社会福祉協議会登録ヘルパー

中田光彦さん

定員 100人・先着順・託児あり(2歳～就学前)

☎ 申込 2月20日までに市民生活課 ☎ 33-1854



新春恒例 箱根駅伝 たすきをつないだ関東学院大学 電気自動車も初参加

1月2日・3日、新春の恒例の東京箱根間往復大学駅伝競走が行われました。4年ぶり2度目の出場を果たした地元関東学院大学は、総合13位と残念ながら悲願のシード権獲得はなりませんでしたが、沿道からたくさんの方の応援を受けながら、見事最後まで母校のたすきをつなぐ健闘を見せました。

小田原市も電気自動車2台が、平塚箱根間に大会関係車両として初参加。大気汚染や地球温暖化を防ぐため、低公害車の普及を訴えました。



祝 優勝
関東学院大学ラグビー部
全国大会選手権

イベント

各種催しものなど

男女共同社会づくり市民フォーラム ～自立・真の男女共同社会とは～

男女共同社会のための意識づくりのアンケートや調査、研究の発表をします。

日時 2月15日(日) 午前10時～正午

場所 マロニエ

定員 70人・先着順

内容 結婚や家庭、男女の役割に関することなどのアンケートの結果報告など

託児 2歳以上就学前まで(予約制)

申込 女性行政室 ☎ 33-1725

地球市民フェスタ'98 in ODAWARA 手をつなぎ・今日を生きよう・明日をつくらう

世界の歌あり、味あり、踊りあり！国際交流のおまつりへお気軽にお越しください。外国籍住民の方々もぜひお出掛けください。

日時 2月15日(日) 午前10時～午後4時

場所 マロニエ

聴く

- ・「きらめき国際シンポジウム」
テーマ「わたしの親しい日本人」
- ・「国際交流の在り方討論会」

見る

- ・世界の民芸品の展示・販売など、市内国際関係団体の活動紹介
- ・ブラジルのサンバなどの世界の歌や踊り
- ・韓国の太巻きなど世界の味いろいろ(有料)
- ・豪国ゴールドコースト市紹介パネル展ほか

知る

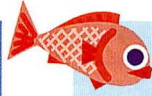
今回の表紙

今回の表紙は日本初のハイテク定置網の設置にあたり、海を取り上げました。

米神の漁師さんの取材(3ページ掲載)で特に感じたことは、浅黒く日やけた顔に輝く瞳の七変化。

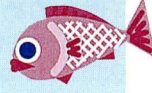
大漁に毎日湧いたころの話になると、子どもの目のように無邪気に輝き、ハイテクを駆使して自然と共生するモデル定置網の話になると、「ざらり」と眼力に力強さを増す。千変万化する海と長いつきあいの男達の瞳は、同じように七色に染まりやすいのか。それとも、言葉少なく瞳で合図する海の上の習慣からなのか。

今日も漁師の瞳は海と会話する。潮の香りが漂う小さな漁場で、大漁旗がなびくことを期待して。



とれたての魚をどうぞ
小田原・港の朝市
2月は毎週土曜日に開催

場所 小田原漁港西側岸壁
時間 鮮魚は午前9時～
鮮魚以外は午前8時30分～
☎ 市漁協 ☎ 22-6617



- ・日本文化紹介
- ・ふるさと国際電話
- ・行政PRコーナーほか

その他

途上国支援のため、使用済みテレホンカードやオレンジカードがあればお持ちください。

同時開催

- ・マロニエ利用団体の発表
- ・男女共同社会づくりフォーラム
- ・フリーマーケット

☎ 文化交流課 ☎ 33-1707

おだわらの木・おだわらのフォルム展 本市の「くろまつ」を使った展示会

1辺30cm四方の「くろまつ」に、工芸家・彫刻家・市民アーティストが、それぞれの思いを表現した作品83点を展示します。

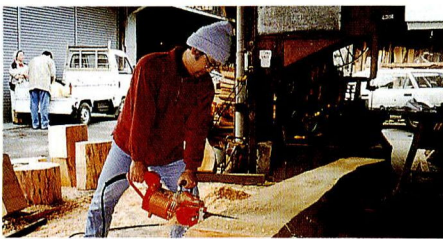
普段見過ごしがちな木の美しさ・力強さ・温もり…小田原の地に息づく木の魅力、木の文化を再発見してみませんか？

日時 3月5日(木)～9日(月)

午前9時～午後4時30分

場所 県工芸技術センター(警察署隣)

出品者 地元工芸作家14人、木彫り作家



小田原梅まつり

日時 2月1日(日)～28日(土)

場所 曾我梅林・小田原城址公園

- ・流鏝馬は11日(祝)曾我原梅林にて行います。
- ・曾我梅林へは御殿場線下曾我駅下車、または小田原駅・国府津駅・新松田駅から下曾我駅行きバスをご利用下さい。

☎ 観光協会 ☎ 22-5002

観光課 ☎ 33-1521

梅の里センター ☎ 42-5321

シルバー大学の歴史観光学科の学生が、曾我の里の史跡を案内します(2月14・15日)。

☎ 社会教育課 ☎ 33-1720

当日受付あり(梅の里センターにて)

16人、市民アーティスト53人

*この事業には、「小田原市ふるさと文化基金」の利子が活用されています。

☎ 彫刻芸術と伝統工芸展実行委員会事務局
露木 ☎ 32-0188

フラワーガーデンの催し



●草花即売会 2月1日(日)・15日(日)

●押し花展

日時 2月10日(火)～15日(日)

午前9時～午後4時(12日は定休日)

●園芸教室「おひなさまの掛花とお茶を楽しむ集い」

ひなまつりにちなみ、和紙を使った掛花を作り、梅園でお茶会を開きます。

日時 2月20日(金) 午前10時～11時30分

定員 30人・先着順・電話申込

参加料 1,500円

●ミュージアムリレー「神奈川西部地域の自然と文化」

園内250種の梅にちなんだ話と観梅、トロピカルドームの見学

日時 2月25日(水) 午前10時～11時30分

参加料 160円

申込方法 往復はがきに、講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、2月10日(火)までに。(消印有効)

☎ 申込 ☎ 250-0055 小田原市久野3798

小田原フラワーガーデン ☎ 34-2814

小田原梅まつり菓子展示会 梅香る招福のまち 菓子展示会

飾り菓子、自慢菓子、お茶席、抽選コーナーなど内容もりだくさん。

日時 2月20日(金)～22日(日) 午前10時～午後5時(22日は午後4時30分まで)

場所 市民会館(駐車場は有りません)

☎ 商工課 ☎ 33-1513



広報 おだわら

February 1, 1998 No.716

message

「さあ！歴史を超えていざ、登城！」

馬出門土橋 (現在のめがね橋)

この橋が小田原城の本当の正面入口。めがね型の橋になったのは、昭和になってから。

①



住吉堀

江戸時代の堀の下には、戦国時代の障子堀や井戸が眠っている。

②



住吉橋

発掘調査では、江戸時代の橋脚が立った状態で発見された。太さは30cmで、先が鉛筆のようになっていた。水面から下2.3m分が腐らずに残っていた。

銅門 ③

江戸時代の二の丸の表門で敵から城内を守る防御施設である。そのため、廻りの土塀にも鉄砲狭間(てっぽうさま)、弓狭間が設けられている。銅門の名前は、大扉などに使われた飾り金具に、銅が用いられたことに由来する。



4月オープン

銅門と並び小田原城歴史見聞館がオープンし、観光元年を飾ります。小田原千年の歴史を展示や映像で分かりやすく学ぶことができます。楽しみに!

九輪橋

本丸を巡る堀に架けられていた。水鳥の池は、埋め立てられた本丸堀の名残りだ。

④



「やったネ登城！ゴ〜ル」と思わず万歳のポーズが出てしまいました。

⑦



天守閣

城の象徴として本丸に構えられたもの。3代将軍徳川家光もこの天守に登ったことがある。

⑥



常盤木門

本丸の正面で、城門の中でも最も大きく堅固に造られている。往時より門の傍らに松が植えられ、松が常に緑をたくわえて何十年も生長することになぞらえ、城が永久不変に繁栄することを願って常盤木門と名付けられたと言われている。

⑤



特別企画「銅門内覧会」参加者募集

4月のオープンに先立ち、内覧会を開きます。市芸芸員のガイドにより、いち早くあなたも小田原城博士。

日時 2月22日(日)午後1時~2時

定員 100人・抽選

申込方法 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話を明記。1枚2人まで申込み可能

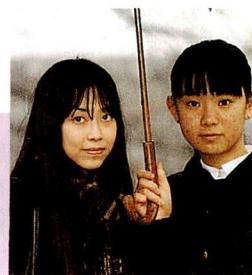
申込 2月17日(火) (必着) まで

〒250-8555 小田原市役所広報広聴課 (住所は必要ありません)

今よみがえる登城ルート

ひとあし早く 女子大生が歩く

小田原城跡整備の一つとして復原工事が進められていた銅門(あかがねもん)が完成しました。これにより大手筋(大手門は現在の市民会館のところ)から大手門、そして現在の小田原警察署前にあるめがね橋から銅門、常盤木門を通って天守閣に行く小田原城の本来の登城ルートがよみがえりました。今回は、銅門の4月オープンに先立ち、登城ルートを案内します。 観観光課 ☎ 33 1 5 2 1 文化財保護課 ☎ 33 1 7 1 7



協力 小田原女子短期大学 学生、写真左から花塚麻実子さん、豊島千佳さん(撮影は雪が舞い散る寒い寒い日でした。ありがとう。)